

2021年12月16日（木）
株式会社 ゼネラル・オイスター

貨客混載によるサステナブルな牡蠣の幹線輸送実証事業を開始

株式会社ゼネラル・オイスター（以下当社）は、国土交通省の「非接触・非対面型輸配送モデル創出実証事業」を受託した株式会社野村総合研究所と、「非接触・非対面型の貨客混載幹線輸送モデル創出実証事業」（注1）における業務委託契約を2021年10月18日に締結し、グループ会社の株式会社海洋深層水かきセンター、及びJR東日本グループのジェイアールバス関東株式会社の参画により、ウイズコロナ時代に対応した物流システムの構築に向けて、非接触・非対面型貨客混載幹線輸送モデルの創出に取り組みます。

本事業では、ジェイアールバス関東株式会社の金沢～東京間高速バスの往復路線を活用し、牡蠣の輸送及びこれまで廃棄していた梱包資材の回収に係る（注2）輸送実験に取り組みました。

また、貨物の授受時に接触・対面が発生する課題への対応策として、デジタル技術の活用を検討します。更に本モデル事業における環境負荷低減のLCA評価を実施し、貨客混載輸送の普及に取り組んで参ります。

2021年11月19日、ジェイアールバス関東株式会社とともに上記区間において小規模の実証実験を行い、本格運用を想定した次のステップへと進んでおります。

当社は本事業を通じ、サプライチェーンの強靱化、脱炭素化やSDGs への取り組みの一環として、サステナブルな非接触・非対面型幹線輸送モデル創出に取り組みながら、オイスターを通して、より明るくより幸せな未来づくりに貢献できるよう、持続可能な事業の発展を目指してまいります。

（注1）国土交通省の「非接触・非対面型輸配送モデル創出実証事業」には「非接触・非対面型 BtoC 配送実証事業」と「非接触・非対面型幹線輸送モデル創出実証事業」があり、当社は後者事業の委託契約を締結しています。

（注2）本事業においては梱包資材の回収のみですが、今後は現在納品先で廃棄されている牡蠣殻の回収、リサイクルへの取り組みも検討しております。

<本件に対するお問合せ>

株式会社 ゼネラル・オイスター 広報担当 03-6667-6606